

令和5年度 第1回 神奈川県立二宮高等学校学校運営協議会 議事録

日時 令和5年6月29日(木) 15:30~16:50

会場 神奈川県立二宮高等学校(南棟2階 会議室)

司会 副校長

参加者

委員

山本 正博	(地域代表・緑が丘地区長)	欠席
関口 正美	(地域代表・一色地区長)	欠席
中西 美保	(二宮町立一色小学校 校長)	
藤田 和人	(二宮町立二宮西中学校 校長)	
杉崎 雅子	(学識経験者・小田原短期大学 保育学科)	欠席
椎野 文彦	(二宮町教育委員会 教育部長)	
二見 敏夫	(地域行政担当者・二宮高等学校同窓会会長)	
卷上 浩昭	(二宮高等学校 PTA会長)	
猪俣 聡	(二宮高等学校 校長)	

学校

副校長	神野 伸
教頭	武田 素行
事務長	佐藤 直広
総括教諭(学習支援G)	神谷 雅彦
総括教諭(生徒支援G)	小山 健太郎
学校管理G 代理	磯崎 幸彦
総括教諭(進路支援G)	浦井 進
総括教諭(生活指導G)	山崎 勇
インクルーシブ教育推進G 代理	木原 幸太郎
事務局(学校管理G)	村山 達也

次第

- 1 委員委嘱
- 2 校長挨拶
- 3 議事
 - (1) 会長・副会長の選出
会長 卷上 浩昭 (PTA会長)
副会長 猪俣 聡 (本校 校長)
 - (2) 学校運営協議会制度について (資料P 2~3 参照)
 - (3) 学校の基本方針について説明 副校長説明
 - ① 神奈川県立二宮高等学校スクールポリシー (学校要覧P 4 参照)
 - ② 神奈川県立二宮高等学校ランドデザイン (学校要覧P 3 参照)
 - ③ 令和5年度学校目標 (学校要覧P 6 参照)
 - ④ 令和4年度学校評価報告書 (学校要覧P 7 参照)
 - ⑤ 令和5年度不祥事ゼロプログラム (資料P 4~6 参照)

職員研修を毎月実施するとともに校長面談を実施している。

⑥ 各グループより

- ・学習支援グループ（神 谷）（資料P 7～8 参照）
授業改善のため、相互授業観察を実施している。
地元中学校に案内を出しているので協力を得たい。
- ・生徒支援グループ（小 山）（資料P 9 参照）
文化祭は一般公開を予定している。二宮高校らしさを出したい。
アフターコロナの試行錯誤の状態である。
生徒と意見交換をして行事を計画・実施していきたい。
- ・進路支援グループ（浦 井）（資料P 10～11 参照）
保護者対象説明会を休日に実施した。
1、2年生にも面接指導の実施を予定している。
- ・学校管理グループ（代理 磯崎）（資料P 12～13 参照）
学校の裏方として活動している。
DIG（災害創造ゲーム）の説明
- ・生活指導グループ（山 崎）（資料P 14～16 参照）
学年・担任の足並みをそろえて指導している。
- ・インクルーシブ教育推進グループ（代理 木原）（資料P 17～18 参照）
初めての卒業生を出した。就職4名、進学6名、未定3名。
ユニバーサルの視点で授業改善に取り組み組んでいる。
相互理解のため生徒・教員の研修を実施する。

(4) 質疑応答

問 二宮高校の魅力は何か。

回答 きめ細やかな指導。性格の良い生徒が多い。指定校推薦が多い。
学習環境が良い。人にやさしい人づくり。インクルーシブ教育の実践。

問 震度5以上の際の対応について。

回答 基本は学校に待機。保護者による引き取りにより帰宅。
近隣住民の避難の受け入れも実施する。

問 中・高の部活の連携について検討はあるか。

回答 運動部を中心にして、見学、体験、高校生による指導の場を設けることを検討する。

問 挨拶をしてくれる生徒増えているが生徒指導はどうしているか。

回答 公共交通機関の利用マナーの改善が課題であるが、感謝とともに防犯の意味もあり地域の方への挨拶の励行を指導していく。

問 小学校行事へ作品等の参加に感謝しているが、行事への生徒の手伝いはできないか。

回答 ボランティア同好会等の活動として協力したい。

4 校内案内 会議閉会後に実施

5 次回予定

第2回学校運営委員会 11月予定

第3回学校運営委員会 3月予定 日程調整ののち通知します。